



いわみ

議会だより

No.167

令和8年5月1日発行



岸本凧人(なぎと)さん・岸本權(かい)さん・岸本舷心(げんしん)さん
(大岩保育所入所式 4月3日)

3月定例会

- | | | | |
|----|---------------------|----|--------------------|
| 2 | 8年度一般会計当初予算 | 4 | 本会議での質疑・意見、審議結果と賛否 |
| 7 | 7年度補正予算 | 8 | 予算審査特別委員会の審査 |
| 10 | 5議員が町政を質す | 16 | 意見交換会を行っています |
| 18 | 新入園児のみなさんおめでとうございます | | |



創出 を支援

◆3月定例会◆

3月定例会は、3月5日から18日まで14日間の会期で開きました。

7年度補正予算8議案、8年度当初予算議案、条例改正など45議案を原案どおり可決、同意しました。

陳情2件は趣旨採択1件、不採択1件となり、議員提出の3議案は可決しました。

入るお金

町債(借入金)

4億3910万円 5.4%
(5億3250万円 6.6%)

県支出金

8億0737万円 9.9%
(7億5127万円 9.3%)

国庫支出金

8億4070万円 10.3%
(9億7383万円 12.1%)

地方消費税交付金等

4億2950万円 5.3%
(3億7520万円 4.8%)

町税

10億9104万円 13.4%
(10億7241万円 13.3%)

使用料及び手数料等

7517万円 0.9%
(7487万円 0.9%)

繰入金等

6億6710万円 8.1%
(6億2790万円 7.8%)

地方交付税

38億1000万円 46.7%
(36億3000万円 45.2%)

歳入
81億6000万円
(80億3800万円)

[金額は万円未満切り捨て]
()内は前年の額です

一般会計の主な事業

(万円未満は省略)

総務費

婚活支援事業(新規)

55万円

結婚を希望される町民の婚活を支援するため、町内の結婚相談所に婚活支援業務を委託する。(町は加入促進として入会初期費用を負担)

民生費

乳児等通園支援事業(新規)

94万円

保育所に通っていない乳幼児が保育所を利用できる事業(こども誰でも通園制度)を実施する。家庭では得られない経験を通じて子どもの育ちを応援する。

商工費

地場産品創出支援事業(新規)

1000万円

ふるさと納税額を増やすため、返礼品の開発、生産拡大を支援する目的で、クラウドファンディング型ふるさと納税により開発や設備投資などに係る資金を集め、事業者に補助金として交付する。

消防費

家庭用防災用品購入補助金(新規)

150万円

災害時における町民の自助力の充実と防災意識の向上に寄与するため、非常時の持ち出しを想定した家庭用防災用品の購入を支援する。(リュックサックなどに避難用品一式が同梱のできるものが補助対象)

教育費

学校給食負担軽減事業(新規)

2642万円

小学校の給食に係る保護者負担を軽減するため、国・県交付金を活用し支援する。

学校給食食材費高騰対策事業(継続)

400万円

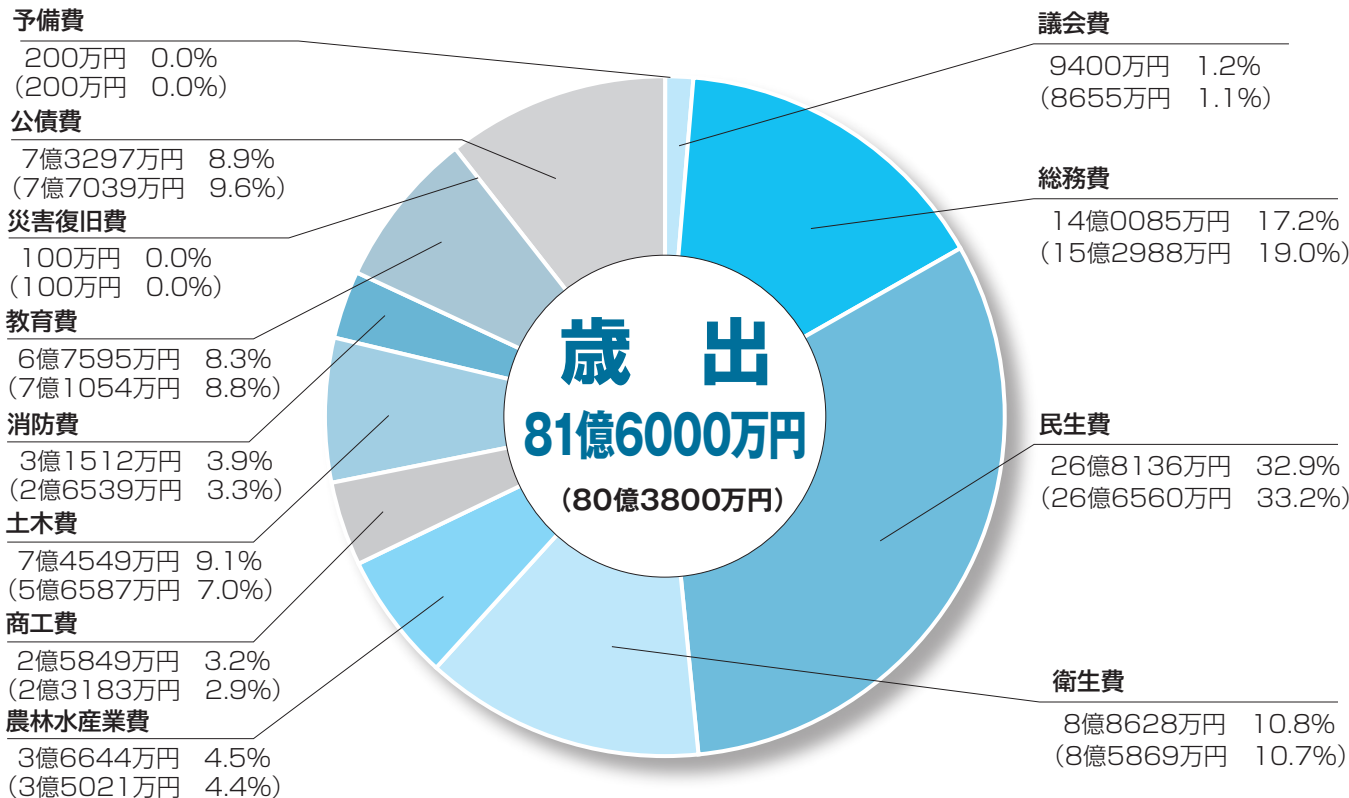
食材費高騰に伴う中学校の給食にかかる保護者負担を軽減するため値上げ部分相当を助成する。

令和8年度 一般会計当初予算

更なる地場産品を

ふるさと納税返礼品開発

使うお金



特別会計・企業会計予算額

会計名	予算額
特別会計	
代替バス運送事業	8325万円
後期高齢者医療	2億3606万円
国民健康保険	13億3641万円
介護保険	14億9756万円
企業会計	
水道事業	4億9382万円
下水道事業	10億0783万円
病院事業	24億0098万円

* 企業会計は収益的支出+資本的支出で表示 (万円未満切り捨て)

その他、スマートフォンに障がい者手帳の情報を登録し、デジタル手帳として提示できるミライロIDの導入や軟骨伝導イヤホンが役場窓口設置された。

また、高齢者の「集いの場」の更なる充実促進のための健康マージャン大会開催、意思疎通を図る伝達ツールとしてコミュニケーションボードを各投票所に設置予定である。

高年齢者等見守りサービス事業 (新規) 15万円

7年度のモデル事業の検証を踏まえ、高齢者や障がいのある方が家族に異変を知らせることのできる見守り機器の導入経費を助成する。

クマ出沒対策事業 (新規) 157万円

クマを誘引する恐れのある放任果樹の伐採に係る経費を集落などに助成する。

あの一般質問はどうなったの？
一般質問が事業化した一部をご紹介します。

新年度議案の 審議の流れ

本会議での質疑及び意見

本会議

8年度関係議案
(条例等・予算)
一括説明・質疑
(3月6・11日)

付託

常任委員会

8年度条例等審査
(3月12日)

予算審査 特別委員会

8年度予算審査
(3月11・16日)

報告

本会議

各常任委員長報告
(条例等)
予算審査特別委員長
報告(予算)
質疑・討論・採決
(3月18日)

問 空屋等の適切な管理に関する条例の一部改正及び空家等解体撤去事業費補助金

答 本補助金は空き家所有者への支援であり、特定空家の除却は相続放棄などにより所有者が特定できない空き家を町が除却措置を行うものである。

問 特定空家の除却措置との関連性はどうか。

答 3年度の空き家調査で460軒の空き家があることは承知しているが、管理不全空家の認定はチェックシートで判定を行うため現段階では把握できない。

問 管理不全空家をとどの程度見込んでいるのか。

答 管理不全空家となった場合、固定資産税の減免措置はどうなるのか。

問 固定資産税の住宅用地特例が解除される。

答 管理不全空家になる前の空き家も補助対象になるので早めの除却をしていただきたい。

婚活支援事業費

問 結婚相談所の入会初期費用の支援とあるが結婚後に町に定住される場合は、成婚料にも支援することは考えているのか。

答 この取り組みは、町内に住んでいたが、少子化対策に繋げることが目的である。

問 登録状況を見て、効果が期待できるのであれば、今後、定住支援も検討する。

地域おこし協力隊支援事業費

問 隊員は、地域との繋がりが少ないと思う。

答 空き家を利用し、地域に馴染んで、卒業後の定住に繋げていくことを考えてはどうか。

問 隊員は将来的な目標、目的を持っており、それぞれの考え方が異なる。

答 町は隊員の希望を聞きながら、住居探し、選定への協力を行っている。

意見 また、今までの隊員の約半数近くが空き家バンクを利用している。

意見 隊員の定着は、地域に馴染めるかにかかっており、受け入れる地域での体制作りも必要である。

重層的支援体制整備事業費

問 将来的に対象者が増えることが予測される。体制整備が重要であるがどう考えているか。

答 包括的支援体制を整備するなかで多機関協力の強化などを図るためコーディネーター、訪問支援職員を配置する。

意見 状況を見て、不備がないよう確認しながら実施したいと考えている。

問 コーディネーターや訪問支援職員は新たに職員を雇用するのか。また、資格などは必要か。

答 コーディネーターは現職員が兼務し、知識や経験のある職員を充てたい。

意見 訪問職員は、新たに有資格の会計年度任用職員を雇用したい。

高齢者長寿祝金事業費

意見 見直しは賛成だが、その分で高齢者福祉を手厚くするべきだ。

意見 また、老人クラブなどと一緒に考えることや、丁寧な説明も必要である。



高齢者福祉を更に手厚く(高齢者運動会)

放任果樹伐採事業補助金

問 補助対象となる部分はどこまでか。

また、所有者が町内に不在の場合、地元負担はどのようなのか。

答 果樹伐採・玉切りに係る経費までが対象となり、処分は対象経費に含まれないので、所有地内または集落内での処分をお願いしたい。

業者に委託せず、自治会や集落で伐採する場合、チェーンソーの借り上げ料や燃料費も対象経費として検討したい。また、補助申請者は所有者個人ではなく、自治会・集落となるので地元負担については自治会などで考えていただきたい。

保育所運営事業費

問 ことも誰でも通園制度の目的に「様々な経験を通じて」とあるが、カリキュラムはあるのか。

また、事業の周知はどのような方法を考えているか。

答 特別なカリキュラムはなく在園児と一緒に通常保育の体験となる。

事業周知は広報、ホームページ、子育てアプリを活用する。

問 土曜日保育事業の配置基準と1か所に集約した後の職員勤務体制はどのようなのか。

答 事前申込制により年齢ごとの保育士配置基準通りに配置を行っている。

集約後は浦富保育所の職員を中心に大岩保育所とみなみ保育所からも職員を派遣し、交替制の勤務とする。



運動会で元気にかけっこ（浦富保育所）

ふるさと納税推進費

問 返礼品の開発、生産拡大をどう前進させていくのか。

答 加工品の品数は揃っているが、更なる充実を図るため8年度は新たな加工品の開発に取り組む。

学校給食負担軽減事業費

問 この仕組みにより、給食の質が落ちることがないようになっているが、国は無償化と言ってきたが、本町では保護者に負担を求めるとののか。

答 国に対しては無償化するように継続して要望はしていきたいと思っているが、国からの交付以上の部分については、保護者に負担をお願いしたい。

学校給食食材費高騰対策事業費

意見 保護者負担軽減のため、この姿勢を買っていただきたい。

唐川のカキツバタ再生事業費

問 保存活用計画の素案を基に、計画策定の協議を行うとされているが、こういった構成になるのか。

答 再生事業は国の補助金を活用しながら、シカの食害対策や水環境整備に取り組んでいる。

これに並行して協議会を開いて計画を進めている。

鳥取大学教授、県立博物館学芸員、鳥獣対策センター、文化庁、地元の方で構成し、検討している。

浦富海岸保存活用計画策定事業費

問 6年度から8年度まで3か年での保存計画策定であるが、これまでの取り組みと8年度にそれをどう取りまとめるのか。

答 従前の計画では陸地部分の計画であったが、島と海域の部分も保存、活用の範囲に入れて測量などを行った。測量などをもとに範囲を決

めて、具体的な計画書を策定するため、取りまとめにかかっており、8年度に成果品として完成する予定である。



計画策定により更なる活用を期待（浦富海岸）

奨学資金償還助成事業費

問 日本学生支援機構の有利子の奨学生や公務員就職者が返還助成の対象外となっているのはなぜか。

答 この事業は、10年間のシミュレーションをして財源の影響も考慮しながら提案させていただいた。

この提案で進めさせていたが、拡充については、今後の課題とさせていただきます。

3月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で承認、可決、同意した議案】

議案		議案		
7年度補正予算	一般会計補正予算（第8号）（専決処分）	指定管理	岩井スポーツ施設の指定管理者の指定	
	一般会計補正予算（第9号）		東地区社会体育施設の指定管理者の指定	
	代替バス運送事業特別会計補正予算（第1号）		田後地区社会体育施設の指定管理者の指定	
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		網代地区社会体育施設の指定管理者の指定	
	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		小田地区社会体育施設の指定管理者の指定	
	介護保険特別会計補正予算（第3号）		岩井地区社会体育施設の指定管理者の指定	
	水道事業会計補正予算（第1号）		蒲生地区社会体育施設の指定管理者の指定	
	下水道事業会計補正予算（第2号）		特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	
	病院事業会計補正予算（第2号）		職員の給与に関する条例の一部改正	
8年度予算	一般会計	条例改正	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
	代替バス運送事業特別会計		空家等の適切な管理に関する条例の一部改正	
	後期高齢者医療特別会計		被災者住宅再建等支援事業助成条例の一部改正	
	介護保険特別会計		職員等の旅費に関する条例の全部改正	
	下水道事業会計		いわみ暮らしおためし住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	
	病院事業会計		家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
指定管理	田後コミュニティ消防センターの指定管理者の指定		特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	
	網代コミュニティ消防センターの指定管理者の指定		放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
	防災センターの指定管理者の指定		犯罪被害者等支援条例の一部改正	
	恩志児童遊園の指定管理者の指定		敬老祝金支給条例の一部改正	
	本庄児童遊園の指定管理者の指定		介護保険条例の一部改正	
	岩美めぐみ館の指定管理者の指定		奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正	
	緑地管理中央センターの指定管理者の指定		その他	過疎地域持続的発展計画の策定
	陸上山村広場の指定管理者の指定			町道路線の認定
	東漁村センターの指定管理者の指定	人事	副町長の選任同意	
	本庄共同作業所の指定管理者の指定		議員発議	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（期末手当改定）
	恩志共同作業所の指定管理者の指定	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（旅費改定）		
恩志地区会館の指定管理者の指定	総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査			

【賛否が分かれた議案】

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	8年度国民健康保険特別会計	可決	(反対) 田中克美
町長	8年度水道事業会計	可決	(反対) 田中克美

陳情審査結果

件名	結果	賛否の状況	不採択の理由
東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情 提出者：浜田 聡（前参議院議員）	趣旨採択	(趣旨採択) 岡本浩美 升井祐子 森田洋子 田中伸吾 寺垣智章 宮本純一 川口耕司 柳 正敏 足立義明 澤 治樹 (退席) 田中克美	—
「こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）」にかかわる陳情 提出者：自治労連鳥取県本部 執行委員長 植谷 和則	不採択	全員一致	本町が行おうとする内容にそぐわないと考えられる。

本会議の討論

国民健康保険特別会計

反対 田中克美議員

物価高騰が止まらない状態の中、国保の被保険者にも子ども子育て支援金が賦課され健康保険加入の場合と比べると支援金の額が数倍になると試算されている。

こうした状況の下で、医療費分の据え置きをすべきたと考える。

積立基金の取り崩しを2400万円を上乗せ繰り入れしても、年度末の基金残高見込みは、1億282万円となり、医療給付費の1割を超える額を維持することになる。

賛成 柳正敏議員

本会計は、国保運営協議会の了承を得た上で提案されたものである。

また、担当分科会で慎重な審査を受けた上で、予算審査特別委員会で決定された結論である。

水道事業会計

【反対】 田中克美議員

憲法の生存権を税制の上で保障するために、最低生活費を除いて課税する生計費非課税を課税の原則としている。飲料水は人が生きていくための最も基本的な条件だ。飲料水に課税するということは、最低限の生計費には課税しないという原則に著しく反すると考える。

賛成 柳正敏議員

本会計は担当分科会で慎重な審査を受けた上で、予算審査特別委員会で決定された。また、消費税は法律のもとで徴収されるものである。

7年度補正予算

7年度補正予算8議案を3月5日に審議しました。その概要は次のとおりです。

一般会計補正予算

補正予算で3129万円増額し、89億5445万円となりました。

【歳出の主なもの】

避難所環境整備事業費

787万円
避難所の住環境向上を図るため、空気清浄機、折り畳み式簡易ベットを整備する。

町道除雪事業費

2314万円増額
大雪に伴う除雪経費の増額補正。



大雪に伴い懸命な除雪作業

条例改正

空家等の適切な管理に関する条例の一部改正

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、適切な管理が行われない空家の発生、放置された空家による災害を未然に防ぐため所要の改正を行う。

指定管理者の指定

更新時期を迎えた19施設を、8年度から指定した。

条例改正

奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

町内在住者の奨学資金の償還に対して助成を行い、町内の就職・定住を促進する。これに伴い現在積立している基金を助成事業に充当するため、所要の改正を行う。

議員発議

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職の職員給与に関する法律及び国家公務員の旅費に関する法律の一部改正に伴い、国に準じて議員の期末手当、旅費を改定するため所要の改正を行う。

公の施設の指定管理者の指定

施設名	管理者	期間
田後コミュニティ消防センター	田後地区自治会	10年
網代コミュニティ消防センター	網代地区自治会	10年
防災センター	岩本1区	10年
本庄共同作業場	本庄第3農事実行組合	10年
恩志共同作業場	二恩志部落	10年
恩志地区会館	二恩志部落	10年
岩井スポーツ施設	岩井温泉区	5年
恩志児童遊園	二恩志部落	5年
本庄児童遊園	本庄部落	5年
東地区社会体育施設	東地区自治会	5年
田後地区社会体育施設	田後地区自治会	5年
網代地区社会体育施設	網代地区自治会	5年
小田地区社会体育施設	小田地区自治会	5年
岩井地区社会体育施設	岩井地区自治会	5年
蒲生地区社会体育施設	蒲生地区自治会	5年
陸上山村広場	東地区自治会	10年
東漁村センター	鳥取県漁業協同組合東支所	10年
岩美めぐみ館	株式会社いわみ道の駅	3年
緑地管理中央センター	株式会社いわみ道の駅	3年

人事

副町長の選任に同意しました。任期は令和8年4月1日から4年間です。

山崎 利幸

全国町村議会議長会表彰

議員として、特に功労のあった者と認められ、全国町村議会議長会から表彰されました。

議員として15年在職

澤 治樹

最小の経費で最大の効果を

令和8年度予算を特別委員会が審査

8年度の予算に関する8議案を、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会（川口耕司委員長）を設置して審査しました。

この特別委員会は、総務教育、産業福祉の各分科会で審査を分担し、各分科会委員長の報告をもとに予算議案全体の審査をおこないました。

その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものとしました。

一般会計

町税

【歳入】

町税増減と滞納者への対応は

問 増減のある主な税目の要因と悪質滞納者と生活困窮滞納者への対応はどうか。

答 個人町民税は企業などの賃金引上げによる給与所得や年金額の改定による年金所得増などにより増、法人町民税は電子部品製造業や建設業の業績向上などにより増、軽自動車税は軽自動車を取得した際に課税される環境性能割が税制改正に伴い、7年度末で廃止されることにより減、市町村たば

こ税は消費の落ち込みによる減、入湯税は前年度実績により増を見込んでいる。

また、悪質な滞納者に対しては、差押えなどの強力な滞納処分を行っており、困難案件は県と連携し、厳正に取り組んでいる。

やむを得ない事情により生活が困窮している滞納者には、福祉事務所や社会福祉協議会と連携し、生活の再建ができるよう支援しながら滞納整理を進めている。

【歳出】

情報化推進事業費

更なるデジタル技術の活用を

問 今後のデジタル技術の活用はどうか。

答 AIチャットボットの他に「書かない窓口」の環境構築、更には、「行かない窓口」に発展させて住民負担を軽減する。

その他、バックヤード業務もデジタル化を進め、効率化と職員の負担軽減を図る。



AIチャットボットを追加予定

問 公金収納導入事業費
公金収納の目的と内容はどうか。

答 「地方税統一QRコード」の仕組みを地方税以外の介護保険料など公金収納に広げるため、システム改修を行い、スマートフォンやクレジットカード決済などの電子納付が可能となる取り組みを進め、住民の支払い手段の利便性の向上などを図る。

母子保健事業費

問 プレコンセプションケア健診の対象者と実施目的はどうか。

答 18歳から39歳までの男女が対象であり、受孕により自身の健康状態を把握し、妊娠、出産など将来のライフプランを考える機会とすることで、健康意識の向上と早期治療につなげる。

予防接種事業費

問 RSウイルスワクチンの接種勧奨はどうか。

答 8年4月からA類定期接種となることを踏まえ、対象妊婦に接種券を配布し、接種勧奨を行う。

子育て世帯等住宅新築・リフォーム資金助成事業費

意見 8年度に小規模集落に対する支援の拡充を行うなど、集落の維持、移住・定住、町内産業の育成に有効な施策である。

町民はもとより、町外に対しても広く制度周知を図りたい。

観光誘致宣伝事業費

全国に本町の魅力発信を

問 本町の魅力を広く全国に浸透させるために観光の取り組みをどのように行っていくのか。

答 アニメ「Free!」の公式イベントの開催に向けて様々な情報発信を行うほか、閑散期の集客のため飲食店や宿泊施設と協力しスタンプラリーの実施を考えている。

花火大会や浦富海岸ジオウォーク、7年度に初めて開催された岩井温泉ガストロノミーウォーキングといった各種イベントに加え、山側でのウォーキングイベントについても検討し、多くの方に来ていただけるよう取り組む。



ガストロノミーウォーキング(岩井地内)

学校管理費

小学校のトイレを洋式化すべき

問 家庭での和式トイレの使用機会が減少するなか、小学校のトイレの洋式化の状況はどうか。

答 現在、小学校の各トイレに1基の洋式トイレを設けているが、今後は施設改修の優先度や必要性、財源を踏まえ、検討する。

地区社会体育施設管理運営費

問 老朽化した社会体育施設は、地元の意向を反映し解体時期を決定することのだが、町が主体的に解体計画を立てるべき時期に入っているのではないか。

答 解体の意向を伝えており、実施に向けた地域内の調整を地元にお願するという方針ではあるが、老朽化が進む現状を鑑み、地元への対応を検討する。

コースタルローイング大会

開催費補助金

本町をコースタルローイングの聖地に

問 今後の取り組みをどう考えているか。

答 大会の実施や日本代表チームの強化合宿の誘致などを地道に行いながら、本町が日本海側初の聖地となるべくローイング協会などに対し様々な提案をする。



コースタルローイング大会の開催(東浜)

代替バス運送事業特別会計

町営バスの利便性向上が必要

問 運行の効率化などに向けた見直しを検討されると思うが、利用者が困らないよう取

り組むべきと考えるがどうか。

答 利用状況の分析や利用される方の意見を踏まえ、効率的な運行となるよう見直しを検討する。

全ての希望に応えるのは難しいが、引き続き、町内での移動手段の確保に努める。

国民健康保険特別会計

受診率向上の取り組みと被保険者の負担軽減を

問 特定健診の受診率向上へどう取り組むか。

答 受診勧奨や健康年齢通知の送付、健診会場での体組成計の活用により継続受診を促すとともに、みなし健診に力を入れるなど、引き続き受診率の向上に努める。

問 子ども・子育て支援金の影響などにより1人あたり保険料が上昇しているが、積立基金を活用し更なる負担軽減を図ってはどうか。

答 被保険者数の減少や医療費の増加に伴い被保険者の負

担が増していくことが想定される中、今後を見据えた基金の活用が必要である。

基金を繰入れ、保険料の上昇幅を抑えるよう算定しているが、今後も、保険料上昇に伴う被保険者の影響と基金残高の状況を考慮しながら対応する。

病院事業会計

収支状況の改善を図るべき

問 他県の病院で経営状況を理由にMRIを更新しなかった事例があるが、高額な医療機器の更新をどう考えるか。

答 高額な医療機器のうち使用頻度の比較的少ないものは、必要性や購入を見送った場合の医療面での影響も考慮しつつ、慎重に検討する。

意見 今後の物価高騰も見据え、空調設備の更新などさらなる経費削減に取り組むべきだ。

問 8年度の経営方針はどうか。

答 内科医師が減となるが、診療報酬改定から入院患者を増やすことの重要性が増しており、入院患者の確保に努めたい。

支出面では、委託内容の見直しなどで経費削減となる見込みだが、更なる経費削減を行い、収支状況を改善したい。



経営改善が急務(岩美病院)

予算審査特別委員会審査報告書はホームページに掲載しております。



一般質問

5議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。






結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

3月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項(通告書のまま)	
川口耕司	11	1 文化財の保存と活用について 2 空き家対策と定住支援の実態及び移住者支援事業について	
森田洋子	12	1 大雪による除雪体制の見直しを 2 フレイル予防のさらなる強化を	
岡本浩美	13	1 浜の活力再生について 2 日本のコースタルローイングのメッカと岩美町の活性化について	
升井祐子	14	1 人口減少時代の雇用創出について 2 脱炭素施策は慎重に	
田中克美	15	1 難聴者に対する支援について 2 国の学校給食無償化実施を契機に、町としてさらに前進することについて	

・議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。

・会議録は、6月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

・QRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

受益者負担率の減免を

川口耕司議員

地元負担の在り方について研究したい

長戸町長



川口耕司議員

新している。

川口 空き家バンクの登録数及び成約数の推移をどう評価しているか。

町長 近年、毎年10軒程度の登録がある。

川口 少子高齢化に伴う人口減少により、全国的に空き家数が増加し社会問題となっている。

空き家バンクの地区別登録状況と周知方法はどうか。

大西企画財政課長 8年2月末時点で、浦富地区4軒、田後地区2軒、網代地区3軒、大岩地区4軒、本庄地区2軒、岩井地区3軒、蒲生地区1軒である。

周知方法は町のホームページやインスタグラムなどのSNSにおいても空き家バンク情報を掲載している。

新規登録の際には情報を更

町長 空き家については5年に一度調査を行っている。

空き家の中で倒壊の危険性があるものを特定空家と定義をしている。

空き家の管理責任は、あくまで所有者や相続人である。

町は空き家の除去に向けた支援制度などを案内する中で、適切な管理、活用できる空き家については空き家バンクへの登録をお願いしている。

川口 鳥越集落では、空き家バンクを活用し若者世帯の移住が実現した。

地域の活力再生に向けた大きな一歩だと思つ。

転入により、町が進めてい



倒れる前に対処したい(鳥越地内の危険木)

る受益者負担率の軽減対象集落の高齢化率が低下した結果、危険木伐採事業の負担増を理由に断念された事態が発生した。

生活環境と集落維持を両立させるため、負担金減免など

提案したいがどうか。

町長 町でも様々な負担区分で事業を進めている。

地元負担の在り方について研究をしたい。

文化財の記録保存と活用を

川口耕司議員

文化財保護委員会で計画的に取り組みたい

大西教育長

川口 文化財は一度失われると復元できない性質を持つため、その価値を守ることが大切だ。

貴重な文化財を3Dデータや高精細画像で保存し公開してはどうか。

教育長 通常のデジタル画像や映像で記録することは可能である。

文化財の記録保存は、文化財保護委員会でご意見を伺いながら取り組んでいきたい。

川口 国指定の史跡となっている山陰道蒲生峠越は本町の歴史的遺産の中でも象徴的

だ。

歴史の道を新たな観光資源として活用していくことも必要である。

しかし、峠道は草木に覆われやすく、石畳の崩落も懸念される。

この貴重な史跡をどう保存し活用していくのか。

町長 平成17年3月2日に国の史跡に指定された文化財である。

草刈り、清掃作業は地元の集落に依頼し毎年維持管理をしている。

ジオパークの活用として地元とも相談し検討したい。

除雪経路の見直しが必要

森田洋子議員

臨機応変に対応する

長戸町長



森田洋子議員

町内業者の高齢化、担い手不足が維持する上で課題と認識している。

森田 今後継続して維持できるシステムを構築しているのか。

森田 本年2月、本町においても顕著な大雪に関する気象情報が発表され、全国ニュースになった。

短時間に記録的な大雪が観測され、倒木で停電も発生した。

今後、地域の持続可能な除雪体制の構築が必要と考える。

このたびの除雪体制はどうだったか。
問題点はなかったか、課題はあるか。

町長 除雪をした後でもすぐに降り積もる中の作業だったが、計画どおりに対応できた。

業者へ委託した場合、警報発令を条件に経費を支援する制度を設けている。
今後は、警報なしでも制度利用できるよう検討したい。

森田 除雪計画の中に経路も示されているが、豪雪を想定し、見直す考えはないか。

町長 その都度臨機応変に対応する必要はあるが、今のところ考えていない。



大変な除雪作業

軟骨伝導イヤホンを役場窓口設置すべき

森田洋子議員

健康福祉課、住民生活課に設置したい

長戸町長

森田 フレイル予防とは加齢に伴い心身が衰えた虚弱の状態を早期に発見し、適切な対策を行うことで再び健康な状態に引き返すための取り組みだ。

先日、町主催の女性向け健康マージャン交流会に参加した。

まさしく町長が普及を進めているフレイル予防と感じたが見解は。

町長 男性だけでなく、女性にも広がっているようだ。

今後は、eスポーツのソフトを追加、健康づくりにつながるよう導入し、生きがいを持って元気に暮らしていただける町としたい。

森田 ヒアリングフレイルとは、加齢による聴覚機能の低下でコミュニケーションが困難になり、社会的な孤立や認

知症のリスクを高める状態のことだ。

サロンや公民館行事などで広く周知し、聞こえのチェックシートの導入をしてはどうか。

町長 社会的な孤立、フレイルにならないよう周知し、チェックリストを活用したい。

森田 耳が聞こえにくい高齢、難聴の方とのコミュニケーションツールとして軟骨伝導イヤホンを役場窓口設置しては。

町長 全国の自治体窓口設置が進んでいる。
健康福祉課、住民生活課に設置したい。

浜の活力再生を

岡本浩美議員

関係者と一体となりプラン達成に向けて努力していく

長戸町長



岡本浩美議員

町長 初期検証の評価は、良好であった。

もう一年検証結果を待ち、予定どおり9年の実施になるように県に働きかけをしていきたい。

岡本 東漁港の浚渫の毎年実施と強風対策の状況を伺う。

町長 地方交付税の範囲では、浚渫は3年に1回程度の実施となるが、現場状況を考慮し、隔年実施している。

防護柵は修繕するも多額の費用と地元負担発生面から撤去した。

再度の設置要望に対しては、費用対効果、地元負担不可の結果を受け、設置見送りとした。

岡本 船員の担い手確保の対応策を伺う。

町長 県内実施の移住相談会の中で漁業就業希望者への情報提供と、新規就業者確保事業を活用して漁業の担い手確保に努めていく。

岡本 第3期浜の活力再生プラン達成に向けて、町長の意

気込みを伺う。

町長 町内の水産漁業関係者・国・県と一体となって、

このプランの達成に向けて努力したい。

コースタルローイングの聖地に

岡本浩美議員

関係団体と協議を進め聖地化をめざしたい

長戸町長

岡本 コースタルローイング競技が2028年のロサンゼルスオリンピックから正式種目となった今、町の活性化に繋げるべきと考えるが、想いを伺う。

町長 本町の風光明媚な海岸線を、全国的にPRできる絶好の競技だと感じる。本町の活性化に繋げていきたい。

岡本 艇庫建設などの環境整備について伺う。

町長 財源の見通しをたてた上で、県ローイング協会・地元地区・関係団体と話し合いを進め場所の問題も含めて検討したい。

岡本 「浜の活力再生プラン」第2期の評価を伺う。

町長 計画した事業を実施し、第2期の計画は達成できたと評価する。

岡本 6年度の沖合底曳網漁業のカレイやカレイの漁獲高減少をどう捉えているか伺う。

町長 カレイの漁獲高は、田後・網代ともに減少した。

カレイの漁獲高は、田後は増えるも網代は減少した。鳥取県水産試験場による

と、近年のアカガレイの資源は安定している。

市場単価下落により漁獲高が減少したと推察する。

岡本 持続可能な水産業をめざして、資源管理に対し、県や漁業者との連携をさらに深めていくべきと考えるがどうか。

町長 全国的にスワイガニの漁獲量は10年前と比較すると半減している。

資源管理に関し、国や県に対して一緒にやって要望活動などに取り組みたい。

岡本 需要の高いイワガキの漁獲量安定のためにもイワガキ礁の早期移設完了に向け、国や県に働きかけられるべきと考えるがどうか。

町長 本年6月の大会を成功させ、地道に実績を積上げ、聖地化をめざしたい。



白熱するコースタルローイング(東浜)

雇用創出の取り組みはどうか

升井祐子議員

当初予算において支援を拡大する

長戸町長



升井祐子議員

升井 企業立地の促進や産業集積による雇用創出が人の流入や若者層の定着に影響している。

雇用創出の考えを伺う。

町長 企業誘致は困難な状況だが、県や商工会と連携し、情報収集を行い、必要なPR活動や、誘致へ向けて取り組みたい。

升井 補助制度が定着や就業につながっているか、財政支出に見合う成果指標を設定しているか。

町長 現在のところ、成果

8年度の予算において、創業支援は35歳未満の若者は補助上限を通常の2倍の100万円に拡充し、新規高

卒者を雇用する対象を大学などの卒業生まで拡大、移住者を雇用した支援の拡大をする。

指標の数値は持ち合わせていない。

升井 本町の移住支援や就業支援は、雇用創出にどのような効果があったか。

町長 データ分析した資料は持ち合わせていないが、ふるさと就職支援事業や新たな開業、事業承継に対する支援などで雇用に結びついた実績は、4年から6年の3年間で29人だ。

升井 今後の雇用創出の取り組みはどうか。

町長 事業規模に応じて500万円以上の設備投資を行う事業者に対し固定資産税を3年間免除する制度、また、投資規模や雇用人数に応じて上限1500万円の助成制度も設けている。

令和7年度版 岩美町企業支援ガイド			
事業区分	対象内容	対象期間	条件
過疎地域における固定資産税の課税免除 (岩美町内において条件課に該当する対象事業を業七方)	課税免除 固定資産税	3年間	対象事業種別：製造業、農林業、畜産業、漁業、建設業、卸売業、小売業、サービス業、情報通信業、医療業、福祉業、教育業、文化芸術業、スポーツ・レジャー業、その他 対象事業種別：製造業、農林業、畜産業、漁業、建設業、卸売業、小売業、サービス業、情報通信業、医療業、福祉業、教育業、文化芸術業、スポーツ・レジャー業、その他 対象事業種別：製造業、農林業、畜産業、漁業、建設業、卸売業、小売業、サービス業、情報通信業、医療業、福祉業、教育業、文化芸術業、スポーツ・レジャー業、その他
中小企業等経営強化法に基づく売場設備等導入補助による固定資産税の特例	課税標準 最大1/4に軽減	最長5年間	対象事業種別：製造業、農林業、畜産業、漁業、建設業、卸売業、小売業、サービス業、情報通信業、医療業、福祉業、教育業、文化芸術業、スポーツ・レジャー業、その他
①岩美町内に工場等を建設又は増設する方への支援			
②新規高卒者を正社員とした中小企業者の方			
③新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
④新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑤新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑥新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑦新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑧新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑨新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑩新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑪新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑫新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑬新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑭新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑮新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑯新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑰新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑱新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑲新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
⑳新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉑新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉒新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉓新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉔新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉕新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉖新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉗新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉘新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉙新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉚新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉛新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉜新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉝新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉞新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㉟新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊱新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊲新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊳新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊴新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊵新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊶新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊷新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊸新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊹新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊺新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊻新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊼新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊽新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊾新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			
㊿新規高卒者等を正社員とした中小企業者の方			

本年度支援が拡大される

脱炭素施策は慎重に行うべき

升井祐子議員

課題の解消と両立し、取り組みを進めたい

長戸町長

町長 課題の解消と両立を図りながら、推進していく必要があると考えるが、地球温暖化対策の取り組みを着実に進めていきたい。

升井 エネルギー転換により雇用や税収が減少する可能性や、脱炭素に向けた規制強化が中小企業の負担になり、その支援も必要になってくると思う。

脱炭素施策は慎重に行うべきだと思いがどうか。

升井 温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指し、設備の導入促進など9つの施策を掲げ、脱炭素に向け計画を策定している。

見直しが進んでいるなど、脱炭素をめぐる国際潮流に変化が見られるが、町は認識しているか。

近年EV政策や環境規制の

町長 承知をしている。

聞こえの問題を相談できる体制を

田中克美議員

相談体制の構築に取り組みたい

長戸町長



田中克美議員

田中 補聴器購入費助成制度の利用状況はどうか。

濱野健康福祉課長 自治会、民生委員、老人クラブ、敬老会や職員による声掛けなど周知につとめ、所得制限撤廃と助成額を4万円に引き上げた。

初年度2人だったが、2年目22人、3年目は2月末時点で23人だ。

田中 町の聴力検査で五十音を聞き取る語音聴力検査を。

町長 語音聴力検査は耳鼻科医師による検査で、聞こえづ

らさは他の原因も考えられ耳鼻科の受診をお願いしたい。町は、人間ドックの簡易聴力検査にもとづく受診勧奨までとしたい。

田中 患者さんとコミュニケーションをとるために病院が情報共有できるように、耳が不自由であることを示す「耳マーク」をカルテに反映できないか。

小谷病院事業管理者 耳マークの電子カルテ貼り付けはできないが、カルテのメモ欄、付箋の機能を使ってコメントを書くことでスタッフが見てわかるようにしている。

カルテを開かないとわからないという問題があるので、情報が共有できて、コミュニケーションがスムーズにとれるよう研究してみたい。

田中 補聴器の利用など聞こえの問題で気軽に相談でき、専門的に対応できる相談体制の検討を。

町長 相談がなければ次につながることができないので、相談体制の構築に取り組みたい。

小学校給食費の自己負担をゼロに

田中克美議員

言い出した国が責任をとるべきだ

長戸町長

田中 国が無償化しなかったこと、町の一食50円(年9600円)自己負担も残念だった。

学校給食への国補助金は、

生活保護と要保護の児童分は町に交付されず、教育扶助、就学援助として家計に入る。保護者は、50円の負担だけの保護者とは別の金額を学校



食べることは食育の入り口(岩美西小学校)

に納めることになり、この児童たちは選別され特別の扱いになる。保護者負担50円を町が補てんとすると、給食費を収めるのは選別された児童だけになる。

しかし町が給食は現物給付だとすれば、教育扶助と就学援助の給食費分を直接学校に入るようにできるので、給食費の納付という外形は消える。

また、保護者の様々な理由により教育扶助や就学援助を受けていない児童も、50円負担をやめれば救済される。町は物価高騰分300万円余を補てんしてきた。

50円に当たるのは410万円余だ。町財政に無理な金額だろうか。

どの子も気兼ねなく一緒に食べられるよう、再検討してほしい。

町長 金額の多寡では判断していない。国が言い出した責任をとるべきだ。現在の負担が増えることはしないという思いで判断した。

町民、各種団体などの皆様と 意見交換会を行っています

議会活動の在り方検討特別委員会では、町民の皆様のご意見をお聞きしながら報酬額を算定し、報酬審議会の答申を得て、昨年10月に議員報酬を改定しました。

現在、報酬改定の報告と今後の議会の在り方について町民の皆様と意見交換を行っています。

また、常任委員会では町内各種団体などと意見交換会を行い、現状や課題をお聞きするなかで課題解決に取り組めます。



町民と議会活動の在り方検討特別委員会との意見交換会

○町民との意見交換会の開催状況です。

団体等	開催日等	団体等	開催日等
自治会正副会長との意見交換会	令和2年12月23日	小中PTA役員との意見交換会	令和6年12月4日
岩美まちづくりの会との意見交換会	令和3年1月14日	各地区との意見交換会	令和7年1月～2月
町民との意見交換会	令和3年2月27日	小田地区との意見交換会	令和8年1月17日
町民との意見交換会	令和6年6月23日	蒲生地区との意見交換会	令和8年3月14日
岩美まちづくりの会との意見交換会	令和6年10月3日	岩美まちづくりの会との意見交換会	令和8年3月23日
町民との意見交換会	令和6年10月5日		



蒲生地区との意見交換会

主な質問・意見 (令和8年開催分)

- ・ 今後の報酬改定は考えているのか。
- ・ 議会から町民に期待することはあるか。
- ・ 担い手不足は議員だけでは無い。仕事を年間均一にして専業にするという考え方もある。
- ・ 議会改革を更に進めていただきたい。
- ・ 行政監視と政策提言に努めていただきたい。
- ・ 人口減少が予測されるなかで長期的な視点で町づくりを考えていただきたい。

全国町村議会 議長会表彰

本町の議員報酬の見直しのなかで、町民の皆様との意見交換を行いながら進め、報酬改定を行ったことなどが特色ある取り組みとして評価され、2月6日に全国表彰を受けました。

各種団体と総務教育常任委員会との意見交換会

令和7年4月7日(月)

○校長会との意見交換会

小中学校の校長先生方と学校の現状や課題について、意見交換しました。

いじめや不登校の問題、教員の負担軽減など教育を取り巻く現状・課題について活発に意見が交わされました。

また、新たに中学校で取り組む部活動の地域連携や特色ある学校づくり事業など各学校の取り組みなどについても先生方からご意見をいただきました。

学校施設では今の風潮を鑑み和式トイレを洋式トイレにすべきではないという意見もあり、委員会のなかで町執行部にも提案しました。



総務教育常任委員会メンバー

令和8年1月15日(木)

○商工会との意見交換会

商工会役員の方々と近年の商工業を取り巻く現状、商工会の取り組みなどについて意見交換しました。

岩美駅前賑わいの創出、デジタル地域通貨、サイクルルートなど町と連携して取り組んでいる事業についての現状、課題などの説明がありました。

また、インバウンド客の増加傾向に伴う観光地での周遊バスの運行提案や町内事業者の継承、人材確保などの諸課題について意見が交わされました。



商工会役員のみなさん

岩美町議会議員

故田中克美氏(78歳)



田中克美氏は4月5日
ご逝去されました。

昭和5年に初当選され
11期44年岩美町議会議員
に在職されました。

この間、議会運営委員
会委員長、産業福祉常任
委員会委員長など数々の
要職を歴任。

その功績により全国議
会議長会などから数多く
の表彰を受けておられま
す。

また、議会活動の在り方
検討特別委員会委員長とし
て議会の見える化や政策提
言、議員のなり手不足への
取り組みなど、議会活動、
議会改革に力一杯取り組ま
れ、町政発展のためご尽力
されました。

謹んで、哀悼の意を表
し、ご冥福をお祈り申し
上げます。

令和8年3月26日(木)

○岩美高校との意見交換会

岩美高校の先生方、魅力化コーディネーターと意見交換をしました。

生徒数の推移や進学、就職状況、女子バレー部や野球部、ウエイトリフティング部、吹奏楽部など部活動に注力されていること、探究学習での地域との連携など高校から説明、報告がありました。

また、私立高校の無償化に伴う県立高校への影響や県外生徒のための住居の確保、英語学習の充実など更なる高校の魅力化に繋がる取り組みについて意見が交わされました。



岩美高校の先生方、コーディネーター

大岩保育所の新入園児のみなさん おめでとうございます

(表記の名前は子どもさんです)



板倉叶弦(かいと)さん



谷本海七叶(みなと)さん



澤 大雅(たいが)さん



池内茉紘(まひろ)さん
池内翔星(しょうせい)さん



田中朔弥(さくや)さん



山根央聖(おうせい)さん



谷岡咲希(さき)さん



川部千奈(ちいな)さん



内門 楓(かえで)さん

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
岡本浩美	井中伸吾	田口耕司	川口耕司	柳正敏	寺垣智章	森田洋子

編集後記

山陰海岸ジオパークの絶景を走るマラソン、浦富海岸健康マラソン大会が毎年5月に開催されます。以前、県中部の知人が友人と参加されていて、びっくり、何度か参加しているとのことでした。また、参加した人から走る途中苦しかったが、沿道で地元の方から「頑張って」と声援を受け、最後まで走り抜いたと話されたことを思い出しました。私もしっかり声援を送ります。

森田洋子